

原村保育園卒園式

3月20日、原村保育園で卒園式が行われ、61名(男29名、女32名)の園児が思い出の園舎に別れを告げました。卒園児は、三井園長から「ありがとうございます!」と元気に卒園証書を受け取りました。式では、1年間の思い出を歌と呼びかけて振り返り、「今日まで育ててくれてありがとうございます。元気な1年生になります」と声を合わせました。



こひつじ幼稚園卒業式

3月21日、こひつじ幼稚園で卒業式が行われ、20名(男13名、女7名)の園児が卒業を迎えました。中村園長は、「けんかは悪いことではありませんが、けんかをするときには必ず1対1ですること。卑怯で自己中心な子ではなく、心から『ごめんなさい』と『ありがとう』が言える子になってください」と園児全員に語りかけました。プレゼント交換では、卒園児から在園児・保護者へ、感謝の気持ちがたくさん詰まった手縫いののい袋と箸袋が贈られました。また、会場に飾られた鳩も、この日のために卒園児が手作りしたものです。



保護者へ、感謝の気持ちがたくさん詰まった手縫いののい袋と箸袋が贈られました。また、会場に飾られた鳩も、この日のために卒園児が手作りしたものです。



原中学校卒業証書授与式



3月18日、原中学校で卒業証書授与式が行われ、59名(男30名、女29名)の生徒が卒業を迎えました。式では、小林校長先生に代わり河口教頭先生が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡しました。河口教頭先生が「志をもって明日から確かな一歩を歩き出してほしい」と式辞を述べると、清水村長は「学校には学ぶことが目的で進学します。学ぶということはどういうことかみなさんが考えてほしい。心と体を鍛え、原中を卒業した自覚と誇りを持って進んでほしい」と祝辞を述べました。また、卒業生を代表して津金薫さんが、「3年間で培った力を自信とし、自分自身の足で一歩一歩前へ進み大きな花を咲かせます」と答辞を述べました。

卒業式終了後に行われたお見送りでは、お世話になった先輩に花や色紙などを手渡す卒業式ならではの風景が見られました。



原小学校卒業証書授与式



3月19日、小学校で卒業証書授与式が行われ、67名(男24名、女43名)の児童が学び舎を後にしました。中井校長先生が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し、「原小のけやきの木のように、強く優しく精一杯輝いていってください」と送り出しました。また、雪が多く積った日に下級生のため自主的に雪かきを行った卒業生の姿に、多くの称賛の声がかけられ、卒業生は誇らしげに中学校へと巣立っていきました。



図書館おたのしみ会

3月4日、図書館おたのしみ会が開かれました。今回は、子どもボランティア「のこのこ」の皆さんによる読み聞かせのほか、原中学校図書委員会の生徒による大型絵本の読み聞かせがありました。会場には約50人もの参加者が集まり、集まった子どもたちは真剣に中学生の読み聞かせに耳を傾けていました。小林館長は「今まで本を読んでもらっていた生徒が今度は自分が読み聞かせる側となり、読書をする機会が継承されていくのはとても良いことです」と話しました。



中学校ブロンズ除幕式

3月13日、原中学校3年生の卒業記念製作のブロンズ像除幕式が行われました。式には、3年生59名の他に村議会議員や教育委員などが出席しました。今年度のブロンズ像は「個性」。像のデザインは三橋暎絵さん、詩は五味遼さんの作品が選ばれました。除幕式では、三橋さんが「個性を四角や丸などの形で表した。いびつな形をしているがお互いを受け入れバランスが取れていることをイメージした」と説明し、五味さんが詩を朗読しました。式終了後には、ブロンズ像を囲んで記念写真を撮り、中学校生活の思い出を作りました。なお、中学生が製作したブロンズ像は、八ヶ岳美術館児童生徒彫刻の森でいつでも見ることができます。



こひつじ幼稚園ありがとう会

3月18日、こひつじ幼稚園で「ありがとう会」が行われました。会では、在園児と卒園児がお互いに「一緒に遊べて楽しかったよ」「元気でいてね」等のメッセージを感謝の言葉と共に伝え合いました。→



大人米粉料理教室



2月18日、原村で生産された米粉の普及活動を行っている「原村こめっこクラブ」が、大人を対象とした米粉料理教室を開催しました。手軽に米粉を使ってもらえるようにと、米粉を使ったハンバーグやあろし餅、和菓子等のメニューが用意され、参加者は米粉料理に親しんでいました。

